

平成 23 年度第 1 回環境審議会会議概要

日時 平成 24 年 2 月 7 日 (火)
午前 10 時 00 分～午後 12 時 00 分
場所 市役所 5 階第 6 会議室

出席者 藤井石根会長 佐野慶一郎副会長
太田篤史委員 中津秀之委員
小林久子委員 進藤和子委員
鶴田鈴子委員 新倉洋樹委員

欠席者 印田愛子委員 岩田一郎委員

市職員 上石環境都市部長 深海環境都市部担当部長 田戸環境都市部次長環境管理課事務取扱
鳥越環境都市部次長環境クリーンセンター所長事務取扱 西之原まちづくり課長
森川緑政課長 石井資源循環課長 長瀧都市整備課長 鈴木河川下水道課長
高橋生活安全課長 米山係長 間邊主任 田中主事補

1 開 会

2 あいさつ

- ・上石環境都市部長あいさつ
- ・委員自己紹介
- ・職員紹介

3 会長・副会長の互選

- ・会 長 藤井石根委員
- ・副会長 佐野慶一郎委員

4 議 題

(1) 逗子の環境の状況（年次報告）平成 23 年度版について

- ・年次報告に沿って、3つの重点課題を中心に報告をし、質疑応答を行った。

『まちなみと緑の創造』

P 3～P 10 は「まちなみと緑の創造」について記載。

山、川、海の自然と共生し、逗子の良好な景観を育んできた歴史や文化の名残を損なうことのないようなまちなみの創造を図るため、市民、事業者、市が協働し、様々な取組を継続的に進めていくことが求められている。

(主な質疑内容)

- ・生垣推進奨励事業における生垣の種類について

『ごみ問題』

P 11～P 16 は「ごみ問題」について記載。

最終処分場の残余容量の僅少といった課題を抱えており、市民、事業者、行政などすべての主体が協働して循環型社会への転換に取り組んでいくべき地域全体の問題となっている。

(主な質疑内容)

- ・ゴミステーション使用のマナーについて
- ・資源物の拠点回収について

『二酸化炭素削減』

P 17～P 20 は「二酸化炭素削減」について記載。

二酸化炭素の発生が人間の社会経済活動によることが大きいことから、「自動車交通」「省エネルギー」問題を重点課題に取りあげている。

(主な質疑内容)

- ・エネルギー使用量の推移について

『環境マネジメントシステム』

P 32～33 は環境マネジメントシステムについて記載。

本市では平成 21 年度から ISO14001 に代わる独自の環境マネジメントシステムを運用し、市全体で取り組む目標と、各課の職務に応じた目標を設定し行動しています。P 32 では平成 21 年度の市全体の目標の取り組み結果について、P 33 では各課等における目標の取組結果について記載している。

『地球温暖化対策実行計画』

P 34～36 は地球温暖化対策実行計画について記載。

本市では平成 19 年度を基準年度とし、平成 21 年～25 年の計画期間に、電気の使用その他の事務・事業に係る部分において 1 %、一般廃棄物の焼却で 5 %の合計 6 %の温室効果ガス削減を目指している。

平成 22 年度における温室効果ガスの総排出量は 9,703,841 kg-CO₂ で、基準年度の平成 19 年度と比較すると 8.81%増加し、前年度の平成 21 年度と比較すると 9.60%減少した。

5. その他

平成 24 年度は、行動等指針の見直しとなる。改めて市長より諮問し、審議いただくことになる。